

岩切たつやの 日常活動

核と人類は共存できない！
今年も県内一円に「非核・
平和行進」がスタートして
います。戦後79年、軍備
で平和は守れないのは歴史
の事実となっています。



都城市でフードバンク事業に取り組むNP
0法人「らしく」を
お尋ねして勉強をさ
せて頂きました。↓



駅前広場で、新しい
取り組みを党活動で
行っています。
マイクで政策を訴え
る活動ではなく、様
々な思い、意見、疑
問をお話しいただき
ました。【あおぞら
街角相談会】→



6月議会が開かれました。
私は9月議会と2月議会での
一般質問を予定しています。
地域の声、出来事を丁寧にお
聞きし県政に活かしていくこ
とができるよう活動していま
います。

これから
働く者の立場
を守り、全て
の子どもらに、
幸福な未来が
あるように祈ると同時に、
動いていきます。

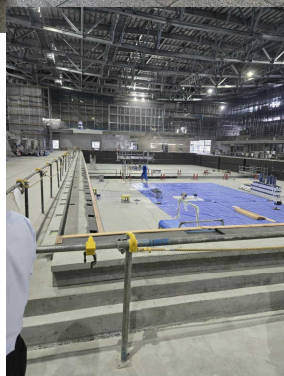
様々な課題を取り上げて、県
民福祉の向上に寄与できるよう
頑張っていきます。

皆さまの、県政に対する
ご意見、ご要
望をお聞かせ
ください。

ホームページ
QRコードです



5月、生目台交流センターで県政報告会を開
きました。あいにくの雨天で参加人数は少な
かったのですが、良い集会になりました。



総務政策常任委員会視察で、県立陸上
競技場、県立プールの建設状況を確認し
てきました。
2027年の国民スポーツ大会、障害者ス
ポーツ大会の会場になります。



↑えびの高原にて硫黄山水質改善施設を視察

1979年県庁入庁し、児童相談所、福祉
事務所等に勤務。その間、労組委員
長、PTA会長など労働運動、地域活動
に取り組む。
2015年県議選に初当選、
3期目。議会内会派の
「県民連合立憲」の会長、
総務政策常任委員会委員
立憲民主党宮崎幹事長
社会福祉士、宮崎県里親
会会長



酷暑お見舞い申し上げます



国会では、法を守らなかつた政治家
達が居座り、再発防止にはほど遠い、
過去最高の税収、過去最高の
抜け道だらけの法律を多数決で決めて
しまいました。政治資金規正法改正で
金持ちのみがうるおうだけで、
多額の国民は物価高、重税負
担に苦しめられ、格差と貧困
が広がる社会が作られ、生活
が壊されました。

そしてルールを守らなかつ
た議員のほとんどは、反省や
事実を明らかにすることはせ
ず、開き直っています。桜を
見る会、モリカケ問題以降に
見られる政治家の姿勢です。
この姿勢は、我さえよくばと
いう世情を作り上げ、この国
の規範性、道徳や倫理観を壊
してきました。

私は、未来のために、こと
もたちのために、まっとうな
政治の実現、まっとうな社会
を取り戻していくことを諦め
ません。引き続き県政の充実
に、取り組んでまいります。

人口減少に備える

今後も、社会の課題を明らかにし、県の取り組み
を求めています。

「誰一人取り残さない」社会になるよう、地域で
も頑張ります。

【2月議会での質問】

- 1 労働力不足について
- 2 県庁における人員確保について
- 3 指定管理者制度で働く人の労働条件向上について
- 4 孤独・孤立対策推進法について
- 5 災害対策、消防体制について
- 6 再造林等環境問題について
- 7 PFASについて
- 8 食料・農業・農村基本法改正について
- 9 障害者福祉の課題
- 10 社会的養育について

県議会録画
QRコード



子どもに優しい社会を

岩切たつや

県議会 便利

2024年7月
発行
県議 岩切たつや
住所 880-0942
宮崎市生目台東
1丁目6-8
電話0985-89-5158
fax 0985-86-8778

私は、2月議会で一般質問に登壇し、人
口減少下で労働力が著しく減少することで
懸念される問題を提起しました。約25年
後に、日本の生産年齢人口（15～65歳）は
2,000万人減少すると推計されています。

働き手が約3割減少すると、すべての職業、
すべての産業に必要な労働力確保は難しく
なります。医療や介護、農林漁業、製造業
や建設業などあらゆる分野で人材の獲得競
争がすでに始まっています。また、都市と
都市、都市と地方の間でも人材の奪い合い
が展開され、ますます激化することが予想
されます。外国から人材を受け入れる環境
整備が推進される必要があります。

労働者を大切にする社会を追究します。

20億4千万円余りの補正予算を可決

6月議会

6月議会では国庫補助決定に伴うもの、硫黄山河川白濁対策等に必要な経費について補正予算が提案されました。主な使い道をご紹介します。

高次脳機能障がい相談・支援拠点機関事業 361万円（補正後 870万円）
高次脳機能障がい者に対する専門的な相談支援や普及・啓発事業、支援者を養成する研修等を実施する



日向新富駅バリアフリー化設備整備 4,086万円
JRのICカードの利用エリア拡大 1億1,700万円

ICカードは、日豊本線では新たに日向新富駅まで、日南線では新たに南方駅～青島駅までICカードが使えるようにします。日向新富駅はバリアフリー化されます。



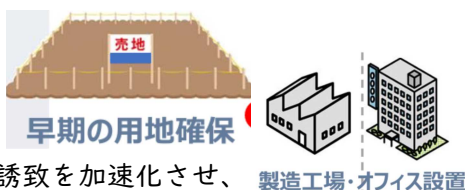
硫黄山周辺地域水田農業緊急支援事業 1,087万円

硫黄山による河川白濁・水質悪化により水稻作付けができなくなった地域に対し、えびの市と連携して代替作物導入等の緊急支援を行い、生産者の意欲低下の防止や水田の機能維持、飼料供給体制の維持を図ります。



半導体関連企業誘致加速化事業 5,000万円

新たに半導体関連企業に特化した産業用地の確保や誘致活動に緊急的に取り組むことにより、半導体関連企業の誘致を加速化させ、県内産業の振興を図ります。



補復に山硫
正維対噴黄
額持し出山
6図、物の
6の火
4水質
5改出
万善・動
円施水
に機
伴質
能悪
回化火

硫黄山河川白濁対策推進事業

現状と課題

- 火山活動の影響により、火山噴出物が水質改善施設内に流入・堆積し、施設の中和機能が発揮できない状況
- 4月の応急対策工事後に再度火山噴出物が流入

施設の機能回復及び河川白濁時の機能維持が急務



硫黄山火山口周辺の火山噴出物

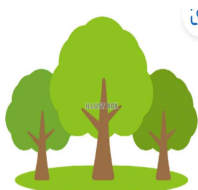


中和水路に堆積した火山噴出物

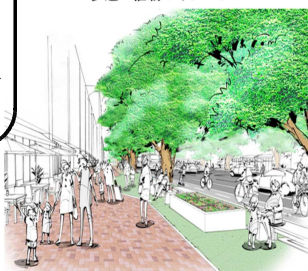
宮崎駅と中心市街地を結ぶ高千穂通りが変わります。歩行者と、自転車の通行空間を分けたりすることで、安全で快適な通行空間や、人々が滞在しやすい空間をつくり、居心地が良く、歩きたくなる道路空間をつくりまします。まちなかウォークアブル推進事業といって、今年から3年余りをかけて工事を行います。 5,460万円

全国初の再造林推進条例が可決成立

国内有数の木材供給基地である本県の再造林率を引き上げ、森林資源の循環利用、二酸化炭素吸収源の確保など、森林の多面的機能を発揮させ、安全安心な暮らしを実現していくことを目的に、全国初の条例が制定されました。



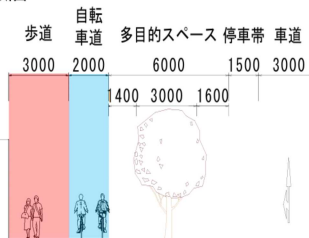
歩道・植栽のイメージ



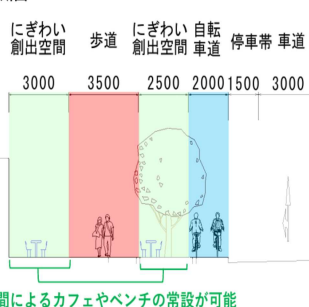
自転車道のイメージ



現況断面



計画断面



民間によるカフェやベンチの常設が可能

6月議会
もつと予算・人材を福祉と教育に向けて
女性局、障がい福祉局の設置で取組強化を
同僚議員の質問の一部をご紹介します。
★質問★（高次脳機能障がいについて）実態把握調査の結果、支援の在り方について県の考えは？
★答弁★（福祉保健部長）医療機関調査などの結果を踏まえ、年間に992人が新規に発生すると推計し、様々な要素を考慮し、疑いありを含め7054人と推計したところ。支援の強化にむけ、支援者養成を図るための研修費を補正予算計上した。福祉に限らず労働、教育、医療分野の取り組みを総合的に進めることが重要。
★質問★（高次脳機能障がい当事者や家族への思い）調査結果を受けて知事の受け止めを伺いたい。
★答弁★（知事）家族会からの要望書をいただいている。日ごろからのご苦労や生きづらさに思いを致し、相談体制充実、普及・啓発など取組の推進が必要であると強く感じている。障がいの有無によって分け隔てられることなく、地域で共に生きる社会を目指したい。

★質問★（給食費の無償化について）市町村の実態は？青森県では県として無償化を実施する。宮崎でも行つてほしい。
★答弁★（教育長）県内で19市町村が給食費補助を実施している。うち全額補助は10市町村、一部補助が9市町村。今年度の九州地方教育長協議会で協議を行い、国への要望を行った。
★私の思い★立憲民主党は先の国会に、学校給食無償化法案を提出しました。給食は子どもたちの成長、また食育といった観点からも、教育の大切な活動です。市町村の財政状況で対応に差があるべきではありません。
★質問★（高等学校の定員見直しについて）人口減少が進むなか定員割れが見られる。定員見直しに対する県の考えは？
★答弁★（教育長）学びの質の保障と適切な学校規模の維持が必要。社会の変化を踏まえ今年度末までに、基本方針の中間見直しを行う。今後も魅力と活力のある学校づくりに取り組む。

★質問★（コロナ対応についての総括の必要性）新型コロナ対策が本県財政に与えた影響は？中小企業への支援策の効果についての見解は？
★答弁★（知事）総事業費は約2300億円となっており、そのほとんどは国庫支出金で、県の財政の健全性は保たれている。中小企業に対する支援金の交付や、プレミアム商品券、旅行支援などで需要の喚起を行った。書類手続きの簡略化などの声にも対応した。結果、雇用の維持や事業の継続に効果があったと認識している。今なお人手不足や高物価などで県内事業者は厳しい環境下にある。引き続き各種支援を推進していく。
★質問★（女性消防職員・消防団員の確保について）働きやすい職場、活動しやすい環境づくりなど対策は？
★答弁★（危機管理統括監）県内消防において女性は22名と5年前の2倍以上。仮眠室などの設備改善、ホースの軽量化など進められているが、さらに改善を図っていくよう連携していく。女性消防団員活性化大会を

会派で提案した意見書が成立し、国等に提出!

地方財政の充実・強化を求める意見書

少子高齢化に伴う社会保障制度の整備、子育て支援、地域活性化など取り組む課題の拡大、DX化、脱炭素化、デジタル化など多岐にわたる役割がある地方自治体は、それに見合う財源がありません。国は、地方の財源を保障し、とりわけ地方交付税による財源保障機能・財源調整機能の強化を図ることが求められます。



より積極的な地方財源の確保充実を求める意見書を県民連合立憲会派から6月議会に提案し、多くの賛同を得て国等に提出することとなりました。

他に、「防災・減災、国土強靱化の更なる推進を求める意見書」も採択され、国等に提出することになりました。

毎年開催し、機材の軽量化に資する補助も行っている。機能別団員制度は、役割や時間を限定して活動できるもので、消防団員確保に期待ができる。企業訪問し理解促進も図っている。地域防災の要として市町村と連携しつつ確保に取り組む。